

令和7年度 調布市立杉森小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
◎思いやり 助け合う子ども【相手意識】（今年度重点目標） ○自ら考え 進んで学ぶ子ども【行動力】 ○元気で 丈夫な子ども【自己有用感】	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
子どもたちに「感謝の心の醸成」を図る学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	・相手の気持ちを考えない言動があるため →相手意識をもたせたい →相手意識をもった行動力を育てたい →「ありがとう」を通して自己有用感を育てたい

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	- 基礎的な言語事項の技能 - 各学年の目標に即した考える力 低学年…順序立てて考える力 中学年…筋道立てて考える力 高学年…論理的に考える力 - 進んで読書をし、国語に親しむ態度 - 身に付けた技能を生活や他教科の学習で発揮しようとする態度	- 段落構成や接続詞、慣用句や表現技能など、言葉の働きに着目できる課題を設定する。 - 漢字の定着を図るため、家庭との連携による家庭学習の充実やタブレット端末の活用を図る。 - 指導する言語事項及び考える力を明確にした学習指導を行う。 - 読書旬間の設定と充実や保護者による読み聞かせなど、児童が読書に親しめる読書活動を推進する。
社会	- 学んだことを生活や生き方と結び付けて考える - 比較や関連付けをして考えたことを文章に記述したり、討論したりして論理的に考える力	- 社会の課題について考え、選択判断するような問題提示の工夫を行う。 - 国語と関連付けながら、8割の児童が資料から調べてわかったことや考えたことを自分の言葉でまとめ、ノートや発言として表現できるようにする。
算数	- 四則計算の意味理解と計算技能 - 考えを図、式、言葉で表し説明する力 - 問題を見いだしたり、既習事項を生かして解決の方法を考えたりする主体的な態度	- 授業で計算の意味を考える学習の充実を図る。また、学校・家庭学習の時間を活用し、でタブレットを用いた四則計算の習熟を図る。 - タブレット端末も活用しながら、図、式、言葉を関連付けながら子どもたち同士で考え方を共有する活動を工夫する。 - 導入や教材の提示方法を工夫し、意欲的に学習に取り組めるようにする。
理科	- 身に付けた知識、技能と実生活とを結び付ける力 - 問題を見いだす力や見通しをもって実験を行い、実験の結果を表やグラフに表し、結果から考察する力 - 自然を愛する心	- 教材提示の工夫により児童の学ぶ意欲を引き出すとともに、日常生活や他教科等との関連させられるように学習活動の充実を図る。 - 国語と関連付けながら、観察、実験などの方法や結果について考えたり説明したりする学習活動を工夫する。
生活	- 具体的な活動や体験を通して、自分と身の回りの人々や自然、社会とのかわりについて気付いたり考えたりする力 - 気付きや考えを言葉や絵、動作など様々な表現方法で表そうとする態度	- 季節の変化を楽しみ、体全体で自然のよさを感じとったり、身近な自然や物を利用して、友達と協力して遊びを工夫したりすることができるような体験活動を積極的に取り入れる。 - 他教科と関連付けながら、活動したことや、気付いたことを自分の言葉や絵などで表現して伝えることができる児童を9割以上にする。
音楽	- 曲想と音楽の構造などの関わりについての理解と必要な技能 - 表し方に思いや意図をもったり曲や演奏のよさなどを見だし音楽を味わって聴いたりする力 - 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習に取り組もうとする態度	- 児童の実態に応じて、曲全体の中から重点となる部分を取り出し技能を身に付ける。 - 対話、聴き合う活動、音楽に合わせて体を動かす活動を毎時間取り入れる。 - 音楽を形づくっている要素とその働かせ方について、聴き取ったことと感じ取ったことを音や音楽、他教科と関連付けて指導する。
図画工作	- もっとかきたい、つくりたいという意欲 - 表したいことを自分で決めて試行錯誤	- 活動過程で友達の表現を見合い、自分の表現を深める機会を設け、充実を図る。 - タブレット端末の活用により、試行錯誤から見つ

	誤しながら表現方法を探る力	けた表現や気付きを記録し、友達と交流することで、新たに取り組みたい表現方法をもつ機会を設け、充実を図る。
家庭	- 日常生活から問題を見いだして課題を解決する力 - 家庭生活を大切にすると心情を育み生活をよりよくしようと工夫する態度	- 学習したことを家庭生活に活用することができるよう家庭に働きかける。 - できるようになったことを表現し、発表することで、自信や意欲につなげられるようにする。
体育	- 各種の運動の基本的な動きや技能 - 身近な生活における健康・安全についての理解 - 自己の課題を見付け、解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力	- 運動量を30分以上確保し、児童が運動に対する興味・関心を高め、一緒に運動する楽しさを味わえるようにする。 - お互いに励まし合ったり、教え合ったりして、関わりを深めながら、安心・安全な中で運動できる学習過程を取り入れる。 - 発達段階に応じた学習カードを用いて、児童が本時の振り返りや次時の課題をもつことができるようにする。
外国語	- 読むこと、書くことに慣れ親しむ。 - 目的や場面、状況に応じたコミュニケーション活動を行い、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力。	- 日常生活に関する身近で簡単な事柄についてのコミュニケーションが学習活動の中心にする。 - 楽しんで読み、書きができるようにビンゴゲームなどの教材を取り入れ工夫する。
道徳科	- 一人一人の考え方や感じ方の違いに気付き、それぞれの個性を認め合う力。 - 物事の善悪を判断する力。	- 自分や友達の考えのよさに気付き、受容的な態度で対話をしたり振り返ったりできる学習活動の工夫を取り入れる。 - 日常生活での児童のよい判断を認め、称賛する。
外国語活動	- 日本語と外国語の違いに気付き、音声や表現に慣れ親しむ。 - 学んだ表現を使って、コミュニケーションを図ろうとする態度	- 日常生活に関する身近で簡単な事柄の表現や音声の例示とアクティビティを取り入れ、楽しさを演出する。 - 日常生活の場を想定した学習活動の工夫を行う。